パソコン小話（１０２．１）

2020/2/5

Windowsのシステムイメージのバックアップ（改1）

パソコンが起動しない、不調になった時に備えて、Windowsの調子の良い時の状態を、外付けのハードディスクに保存しておく仕組みが有ります。

それには、システムイメージの作成と、システム修復ディスクの作成を行います。

以下に、その手順を記述します。

**あらかじめ、外付けハードディスクをパソコンに接続しておきます。**

１．スタート　→　設定　→　更新とセキュリティ　→　バックアップ　→

　　　　　　　　→　バックアップと復元に移動（Windows７）



２．画面左側　システムイメージの作成



３．バックアップデバイスを検索中です　の画面が出る



４．外付けハードディスクであることを確認　→　次へ



５．次へ



６．バックアップの開始



７．バックアップが開始････パソコンによって、30分～1時間くらいかかります。



８．バックアップは正常に完了しました。　→　システム修復ディスクを作成しますか？　→

　　→　はい　（システムイメージの作成を行うと、最後に毎回、このメッセージが出ますが、システム修復ディスクは、**1回作れば良い**）



９．この画面で、新品のCD（又はDVD）ディスクをパソコンにセットします。

　　→　しばらくしてから、ディスクの作成　をクリック



１０．作成開始（最後の方で止まったように見えるが、じっと待つこと）



１１．システム修復ディスクが完成　→　OK　→　CD（DVD）ディスクを取り出す



１２．**CD（DVD）ディスクに以下の文言を見て、記入しておく**　→　閉じる



１３．あとは、残っている画面を閉じて、全て完了です。

**注意**

システムイメージのバックアップは、何回でも出来ますが、

前回のバックアップファイルに上書きされてしまいます。

前回のバックアップファイルも残しておきたい場合は、日付の入ったフォルダーを作り、そこに移動してから新しいシステムイメージのバックアップを行って下さい。

毎回最後に、「システム修復ディスクの作成をしますか」と

聞いてきますが、最初に1回作れば、2回目のバックアップからは、いいえで閉じて下さい。

１４．バックアップイメージデーターの保存について

　　　バックアップイメージデーターは、「WindowsImageBackup」と言うフォルダーが自動的に作られます。日にちをおいて２回目のバックアップを取ると、このフォルダーに上書きされてしまいます。

よって、バックアップの日付毎にデーターを残しておきたい時は、

日付の入ったフォルダーを新しく作って、そこに移動しておきます。



１５．移動後の姿

１月３１日に作ったバックアップデーター

１１月８日に作ったバックアップデーター

　　　

　　　上図では、第１回目のバックアップを１１月８日に行っている。

　　　第２回目は、１月３１日にバックアップを行っている。

例えば、３月にパソコンに不具合が見つかった時、１月３１日のバックアップデーターで復元を試みる。この時、不具合が直っていなければ、更に遡って、１１月８日のバックアップデーターで復元を試みる事が出来る。

復元操作は、小話107.2を参照

以上